

## テーマ別チームでの検討整理（簡略版）

### 【地域ニーズ型チーム】

テーマ別チーム名	地域課題【テーマ】	前年度からの引継ぎ事項	令和4年度			令和5年度	
			具体的検討課題	検討結果・活動内容	検討から出てきた新たな課題	次年度引継ぎ事項	具体的検討課題
障がい者の働くを支えるチーム	障がい者の働きたい気持ちを支える働く場と賃金の充実を考える	事業所の訓練内容が分からないと、就労系事業所間でも協力や連携の検討が難しい。事業所の内容の調査を行い検討の基礎資料を作成してもらいたい。	各事業所が何をしているのかわからない、ということから事業所の訓練内容等を具体化していくことが必要である。	これから就労しようとしている方、および事業所が活用できる資料となるように、各事業所がどのようなサービスを提供しているかを明確にする「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」を作成した。	「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」の効果的な情報発信の方法を検討と、一過性のものにならないための継続的な更新作業の体制づくりが必要である。	「鎌ケ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」の効果的な配布方法を検討し配布すること、継続的な更新作業の体制づくりを検討してもらいたい。	
地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム	短期入所先が少なく緊急時に使えない、肢体不自由者（児）の通所先などがない、通学・通園に利用できる送迎サービスがない等の課題に対し、地域資源を活用し、解決できないか考える。	アンケート結果の分析を行い適切な基準について提言をまとめてもらいたい。	アンケート分析の結果、以下3つの検討課題が挙げられた。 ①ヘルパー事業所等の担い手不足 ②担い手がいたとしても有償であると経済的に困窮している方は利用できない ③その他各学校のスクールバスの課題	ファミリーサポートの現状を聞く機会を設けた。 自立支援協議会に以下の提言書を提出した。 ①移動支援利用拡充に向けての協議の場を設定 ②有償ボランティアとの協力体制をつくる ③特別支援学校等への調査	①移動支援利用拡充には多くの課題があるため、今後も検討の場を設ける必要がある。②有償ボランティアとの協力体制やサポート制度の構築を図るため、障がい者施設等での体験学習や講習等の開催を検討する必要がある。③特別支援学校へのスクールバス利用の状況を確認する必要がある。	提言書の内容を遂行してほしい。	
障がい者のつながりを支えるチーム	ひきこもりや、社会と接点を持ちにくい方など、つながることが難しい方への支援を考える。	つなげるための機能について他のチームからも意見を伺いフローチャートのイメージを取りまとめてもらいたい。	多くの支援が必要となる問題に直面した際、どのようなところに相談し、また連携すれば良いかが分かる資料が必要である。	支援者向けシートとして、「困った！どうする？！支援者向けシート」を作成し、各支援機種の概要と、支援や連携をする際のポイントをまとめた。 チームメンバーが実際に支援し、対応に困っているケースについての事例検討を行った。	「困った！どうする？！支援者向けシート」を実際に現場で活用してもらうために、配布先や配布方法について検討する必要がある。	シートの効果的活用方法について検討してもらいたい。 検討しきれなかった事例について事例検討をしてほしい。	
障がい分野の情報を発信・啓発するチーム	障がいや、障がい者を取り巻く環境を理解してもらうため、地域や市民を巻き込む啓発活動について考える。	実施を見送った「障害平等研修」を是非実施してもらいたい。	まずは支援者（市内事業所従事者）向けに障がい者を理解する研修を行う。	令和4年12月17日に「障害平等研修」を実施した。当日は30名の参加があった。アンケートの結果は良好で、効果的な研修が実施できた。	今後も研修会の開催が継続して実施できるとよい。対象者や内容等については更に検討していけるとよい。	継続して効果的な研修を実施してもらいたい。	

### 【政策課題型チーム】

テーマ別チーム名	地域課題【テーマ】	前年度引継ぎ事項	具体的検討課題	検討結果・活動内容	検討から出てきた新たな課題	次年度引継ぎ事項	具体的検討課題
精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム	地域で暮らしていくにはどんな仕組みが必要かを国が進める「精神障がいにも対応した包括ケアシステム」に沿って考える。	一年間の事例検討と整理を基に病院と地域の連携について場面別などのフローの作成について検討してもらいたい。	地域でその人なりの生活が送れるよう支援するために、医療機関とのスムーズな連携が必要である。そのためチェックシートやフローチャートを作成し、支援の明確化を図る。	地域の医療機関の協力のもと、以下の作成を行った。 ①「つながるシート」 ②「生活状況チェックシート」 ③「支援者チェックシート」 ④「情報提供書（ひな形）」	作成した①～④の効果的な活用方法、周知について更なる検討が必要である。	作成した①～④を段階的にモデルケースで活用し、使いやすさの検証をしてもらいたい。必要に応じて改訂してもらいたい。	
医療的ケア児支援チーム	医療的ケア児を支援するための、連携体制について国が進める「医療的ケア児支援」に沿って考える。	災害時の備え等についてまとめたもの（リーフレット等）の作成、また関係機関との情報共有の方法も含めて検討してほしい。	災害時の備え等についてまとめたもの（リーフレット等）が必要である。	医療的ケア児の災害時の対応についてリーフレット等の作成を試みたが、医療的ケア児は対象の疾患や医療行為の個別性が高いため、市民向けのリーフレット等を作成するのは困難であることが分かった。	まずは医療的ケア児に対する地域の方の理解を深めること、災害時に支援者側がどう対応したらよいかをまとめたサポートマニュアルが必要である。	既に来上がっている「鎌ケ谷市コミュニケーション支援ボード」に今回作成したサポートマニュアルを加え、避難所へ配布してもらいたい。	